

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	現代の国語	必修 選択	必修	選択	学年	1年
教科書 副教材等	精選現代の国語（東京書籍）、新総合図説国語（東京書籍）、パスワード級別漢字（浜島書店）					
選択対象者						
科目の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定3級程度の漢字の読み書き、語彙力を用いて表現することができる。 ・読み手の理解が得られるような文章の構造を理解し、表現することができる。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味することができる。 ・近代以降の評論文を読解できる。 ・読解した内容をもとに、自身の考えをまとめることができる。 ・他者の考えを踏まえ、自身の考えを広げたり深めたりすることができる。 					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近代以降の評論文の読解を行う。 ・社会との繋がりを意識した場を用いて、教員もしくは他者とどのような力が必要か熟考する。 ・学習課題にしたがい自身の意見を構築するために、様々な調査活動を行う。 ・自身の考えを他者と共有または比較し、まとめる。 ・作文、感想文、スピーチ等を行い自身の考えを表現する。 					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動においては意見文執筆、個別・グループ発表、討論など多種多様な表現の機会を設ける。 ・グループ活動を多用し、他者と意見を共有する場、自身の意見を発信する場を多く設ける。 ・教え合い・聞き合いなどを通じて、教員主導ではなく生徒主導の授業形態で授業をすすめる。 ・地域人材を活用した授業を行う。 					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に必要な難解語句の意味や漢字の読み書きを理解することができる。 ・自身の考えを効果的に伝える論の構成を理解することができる。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味する方法を理解することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張、各評論の主題に対して自身の考えを表現することができる。 ・自身の考えを他者に伝えることができる。 ・他者の考えと自身の考えを比較し、広げたり深めたりすることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張、各評論の主題を粘り強く読みとろうとしている。 ・自身の取組を評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。 					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	話すこと・聞くこと：5 他己紹介スピーチをしよう (5)	・自身が紹介する人物のことを理解してもらうためにはどのような情報が必要か取捨選択し、的確に相手に伝える。	・目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理し、伝え合う内容を検討することができるか。	②③⑤
5	書くこと：8 評論の読み方 届く言葉 (8)	・対比的に書かれている評論文を読みとつたことをもとに、読み手の理解が得られるよう自身の考えを論述する。	・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができるか。	①②④
6	読むこと：6 水の東西 (6)	・二項対立とは何か理解し、外国との日本のものの捉え方や感じ方の違いについて理解を深める。	・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、自身の考えを深めることができるか。 ・二項対立文とは何か理解し、読解した内容をもとに他の文化の東西を見つけることができるか。	①②⑧
6	毛がにまつり (2)	・商業科など他教科との横断的学習		⑥⑦
7 8	読むこと：6 眞の自立とは (6)	・筆者が述べていることを適切に読み取り、これからの学校生活で何をすべきか考え、まとめる。	・内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができるか。	①③⑤⑨
9 10	書くこと：7 新聞記事を基に問いを作り、意見をまとめる (7)	・新聞の構成を理解し、自身が興味関心のある事柄に関して意見をまとめることができるか。	・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができるか。	②④⑦⑨
11	話すこと・聞くこと：8 コミュニティのこれから まちの豊かさとは何か。 (8)	・筆者が述べる主題を理解し、自身が住んでいるまちをより豊かにする方法を地域の方を招き、議論する。	・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができるか。	①③⑤⑧
12	書くこと：8 論証してレポートを書く (8)	・レポートの形式を理解し、総合的な探究の時間の成果をレポートにまとめる。	・レポートの形式を理解し、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができるか。	①②⑨
1 2	話すこと・聞くこと：7 自身の考えを論理的に伝えるようになろう (ディベート) 【教科書掲載なし】 (7)	・社会的問題に関して、自身の考えを客観的事実と合わせて他者に表現する。	・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができるか。	②③⑤⑦⑧
2 3	書くこと：8 白 (8)	・既習事項の評論の読み方を基に、評論文を読み取り、自身の考えを効果的に表現する。	・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができるか。	①②④
3	話すこと・聞くこと：7 情報を整理しながら話し合う。 (7)	・これまで学習してきたことをもとに、長課を分析し、改善案を生徒視点でまとめる。	・場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができるか。	③⑤⑥⑧⑨

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	言語文化	必修 選択	必修	選択	学年	1年
教科書 副教材等	精選言語文化（東京書籍）、新総合図説国語（東京書籍）新全訳古語辞典（大修館書店）					
選択対象者						
科目の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代仮名遣い、訓点、教科書内で出てくる助動詞の意味や用法を理解し、文章の中で使うことができる。 ・教材内容を読解し、自身の考えを表現することができる。 ・昔と現代との共通点、相違点を見つけ、自身の考えを他者と共有または比較し、広げたり深めたりすることができる。 ・物語文を読み、登場人物の心情などを豊かに想像する力ことができる。 ・物語文を読み、内容や構成、表現の仕方などを基に内容を理解することができる。 					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<p>(近代以降の文章の領域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治期以降の小説、短歌、俳句、詩の読解を行う。 ・読解したことをもとに、自身の考えを構築し他者と共有し、広げたり深めたりする。 <p>(古典の領域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文、漢文の文法事項について学習する。 ・古文、漢文の読解を行う。 ・読解したことをもとに、自身の考えを構築し他者と共有し、広げたり深めたりする。 					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・古典における文法事項分野においては講義形式で授業をすすめる。 ・近代以降の文章に関しては、教え合いを推奨し、教員主導ではなく生徒主導で授業をすすめる。 					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な品詞や読み仮名を理解することができている。 ・古典を読み解くための文法や助動詞等を理解し、文章の中でも使うことができている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の主題や筆者の主張に対して自身の考えを確立することができている。 ・自身の考えを他者へ表現することができている。 ・他者の意見を踏まえ、自身の考えを広げたり深めたりすることができている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法を理解し、粘り強く古文・漢文を読み解こうとしている。 ・自身の取組を、評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。 					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・言語活動に対する取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の取組に関する自己評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 <p>これらを総合して、三観点を同等に扱い、評価を行う。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	読むこと（近代以降の文章）：6 文語定型詩から口語自由詩へ・小景異情、I was born、あいだ（6）	・各作品の多様な解釈を踏まえ、自身の考えを表現する。	・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができるか。	①③⑤⑧
5	読むこと（古典）：7 古文の言葉と仮名遣い（1） 児のそら寝（6）	・歴史的、現代仮名遣いとは何か理解し、古文に親しみ、作品に表れていない登場人物の心情を読み解く。	・現代仮名遣いを理解し、読むことができるか。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるか。	①⑦⑨
6	読むこと（古典）：6 絵仏師良秀（6）	・助動詞にはどのような働きがあるか理解する。 ・絵仏師良秀の生き方について議論する。	・文中における助動詞の判別ができていないか。また、その助動詞はどのような用法があるか理解しているか。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるか。	①③④⑤
7 8	読むこと（古典）：10 古語を調べるために（1） 伊勢物語（9） 「芥川」「筒井筒」	・各登場人物の心情を読みとり、古典時代の人々にとって和歌とはどのような存在だったのかを探る。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができるか。 ・各登場人物の心情を表現や和歌などを通して捉えることができるか。	①③⑤⑧
9 10	読むこと（近代以降の文章）：10 羅生門（10）	・登場人物の心情を情景描写や各表現から読み取る。 ・各表現に着目し、下人の行方を論理的に探る。	・表現や情景描写に着目し、言葉が持つ力を認識し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができるか。	①②⑤⑦⑧⑨
1 1	読むこと（古典）：8 訓読の基本（4） 故事成語 三編（4）	・訓点の用法を理解し、正しく読み、書き下し、現代にも生きる言葉の成り立ちを探る。	・訓点の用法を理解し、正しく書き下すことができるか。 ・訓点の用法を理解し、正しく読むことができるか。 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができるか。	①④
1 2	書くこと：6 寓話（6） 借虎威 塞翁が馬	・故事成語の成り立ちを理解し、自身の経験や体験に置き換えよう。	・既習の訓点の用法を活用し、書き下すことができるか。 ・自分の知識や体験の中から適切な話題を決め、集めた材料の良さや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすることができるか。	①②③⑤
1	読むこと（古典）：5 徒然草（5） 「ある人弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」	・本文の読解を通じて、現代との共通点を見つけ、人間の考え方や価値観に関して考えを深める。	・作品や文章に現れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるか。	①②⑦
2	書くこと：6 漢詩の形式と決まり（1） 絶句と律詩（5）	・漢詩の形態を理解する。 ・漢詩を現代語訳し、現代版に漢詩をリメイクする。	・漢詩の形態、押韻を理解することができるか。 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができるか。	①②⑤⑧
3	読むこと（近代以降の文章）：6 鏡（6）	・本小説の主題は何か。表現や重要語句に着目し、自身の考えをまとめる。	・独特な語り口で書かれている小説を読み取るすることができるか。 ・作品や文章に現れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができるか。	①④⑤⑧

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	文学国語	必修 選択	必修	選択	学 年	2年
教科書 副教材等	文学国語（大修館書店）、文学国語学習ノート（大修館書店）					
選択対象者						
科目の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章を読み、登場人物の心情を捉えることができる。 ・文学的な文章を読み、人物像・表現技法について考察を深めることができる。 ・文学的な文章を批判的に読み、作品構成を批評することができる。 ・作品の主題及び作品構成に関して自身の考えをもつことができる。 					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情、作品の主題を読み解く。 ・批判的思考をもとに作品の構成に関して理解を深める。 ・自身の考えを様々な表現方法で表現する。 					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情や作品の主題を自身または他者と協働しまとめる。 ・自身の考えを根拠と併せてもつ。 ・自身の考えを他者と共有し、共通点・相違点を見つけ、自身の考えをより深める。 ・自身の考えを再考し、様々な表現方法で表現する。 					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句、表現技法、漢字等を理解し、文章の中で使うことができている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化についての知識を身につけている。 ・登場人物の心情、心情の変化を根拠と併せて正確に読みとることができている。 ・作品の主題を適切に読みとることができている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情、作品の主題に対して自身の考えを持つことができている。 ・自身の考えを効果的に他者に表現することができている。 ・他者の考えを聞き、自身の考えを広げ、深めることができている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く登場人物の心情、筆者の主張を粘り強く読みとろうとしている。 ・自身の取組を、評価・反省し、改善しようとしている。 					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4 ・ 5	書くこと (7) ・ 十八歳の選択 体験に基づいて書く。 (7)	<ul style="list-style-type: none"> 想像したり共感したりしながら、筆者の思いを読みとる。 筆者の文章技術をもとに、自身の体験を随想で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引きつける独創的な文章になるように工夫することができているか。 	①④⑨
6	読むこと (8) 山月記 (8)	<ul style="list-style-type: none"> 情景描写や時間の推移を基に登場人物の心情を理解する。 登場人物の生き方に関して批評文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができているか。 	②⑤⑥⑦
7	読むこと (7) 山椒魚 (7)	<ul style="list-style-type: none"> 本作品に込められた寓意を理解する。 寓意を基に自身の生き方を見つめ直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができているか。 	③⑥⑦
7 ・ 8	書くこと (7) 竹・小景異情・永訣の朝・心情を描写する (9)	<ul style="list-style-type: none"> 韻文の表現や効果について理解を深める。 詩、短歌、俳句の形式を理解する。 各作品の優れた文章表現を読み味わう。 自身の心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 韻文の表現や効果について理解することができているか。 詩、短歌、俳句の形式を理解することができているか。 文章の個性や展開、表現の仕方などについて伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができているか。 	①②⑦⑨
9	書くこと (6) 鹿を追いかけて 情景を描写する (6)	<ul style="list-style-type: none"> 情景描写に着目し、自然と人間の関係がどのように表されているかをとらえる。 情景を伝えるために表現を工夫し、自身の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情景描写に着目し、筆者の思いを読みとることができているか。 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができているか。 	①②⑨
9 ・ 10	読むこと (14) ・ ころ (14)	<ul style="list-style-type: none"> 人物関係を整理し、各人物の心情を理解する。 本作品はなぜ「ころ」というタイトルなのか。探る。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができているか。 	①③⑤⑥⑦⑧
10 ・ 11	読むこと (8) 美神 (8)	<ul style="list-style-type: none"> 舞台設定や時代背景を踏まえて本作品の主題を理解する。 本作品の構成や表現を批評する。 	<ul style="list-style-type: none"> 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈すること。 	①②⑤⑧
12 ・ 1	読むこと (6) 私の日本居住論 (6)	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い視点で日本文化の特徴を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができているか。 	②⑧⑨
2 ・ 3	読むこと (7) ・ 桜の中で、時が重なり合う (7)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な具体例をもとに筆者が論じている桜の魅力を探る。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができているか。 	①④⑨

時数合計 (70)

教科名	国語	単位数	2		担 当	
科目名	文学国語	必修 選択	必修	選択	学 年	3年
教科書 副教材等	文学国語（大修館書店）、文学国語学習ノート（大修館書店）、図説国語（東京書籍）					
選択対象者						
科目の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章を読み、登場人物の心情などを豊かに想像することができる。 ・ 文学的な文章を読み、人物像・表現技法について多角的に考察を深めることができる。 ・ 文学的な文章を批判的に読み、作品構成を多角的に批評することができる。 ・ 作品の主題及び作品構成に関して、他者との多様な関わりの中で、自身の考えを深化させることができる。 					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情、作品の主題を読み解く。 ・ 作品が書かれた時代背景を理解する。 ・ 批判的思考をもとに作品の構成に関して理解を深める。 ・ 自身の考えと他者の考えを比較し、自身の考えを再考し、表現する。 					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情や作品の主題を自身または他者と協働し、まとめる。 ・ 自身の考えを多角的な根拠と併せてもつ。 ・ 自身の考えを他者と共有し、共通点や相違点を探り、自身の考えをより深める。 ・ 自身の考えを効果的に表現するための方法を選択し、表現する。 					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句、表現技法を理解している。 ・ 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化についての知識を身につけている。 ・ 登場人物の心情、心情の変化を根拠と併せて正確に読みとることができる。 ・ 作品の主題を時代背景や作者の生い立ちなどを踏まえて適切に読み取ることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情、筆者の主張に対して、自身の考えを適切な根拠と併せて持つことができる。 ・ 自身の考えを他者に効果的且つ具体的に表現することができる。 ・ 自身の考えと他者の考えの共通点・相違点を見つけ、自身の考えを広げ、深めることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時代背景なども踏まえ、粘り強く登場人物の心情、筆者の主張を読みとろうとしている。 ・ 自身の取組を、評価し、反省し、粘り強く改善しようとしている。 					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取組状況 【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 言語活動への取組状況 【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自身の取組に対する評価、改善 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 定期考査 【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	読むこと：7 鍋セット (7)	<ul style="list-style-type: none"> 自身と主人公の状況を照らし合わせ、内容・心情を的確に読みとる。 本タイトルに込めた筆者の思いをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができるか。 	①⑥⑨
5	書くこと：7 桔梗くんへ (3) 手紙を書く (4)	<ul style="list-style-type: none"> 作品を通して、手紙という媒体の効果を探る。 手紙の書き方を理解し、10年後の自身に手紙を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引きつける独創的な文章になるように工夫することができるか。 	②④⑥
6	読むこと：7 掟の門 (7)	<ul style="list-style-type: none"> 表現の特徴をとらえ、その効果や意味について考える。 本作品に潜んでいる寓意を発見し、現代にも同じような状況が存在するか、考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができるか。 	③⑤⑧
7	書くこと：8 陰影礼賛・闇と光 (8)	<ul style="list-style-type: none"> 言語表現による自然や文化のとらえ方に着目する。 日本の伝統的な価値観やその変化について考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にすることができるか。 	①②④
8 ・ 9	読むこと：8 檸檬 (8)	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の生い立ちや文化的背景を踏まえて、内容を読解する。 作品の結末について、作者の思いを探る。 	<ul style="list-style-type: none"> 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができるか。 	①⑧
9	読むこと：4 待つ (4)	<ul style="list-style-type: none"> 語りの特徴に着目し、その効果について考える。 時代背景を踏まえ、主人公の一貫した行動の是非を協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができるか。 	②⑤
10	読むこと：8 伊豆の踊り子 (8)	<ul style="list-style-type: none"> 表現技法や場面設定を批判的に読み、本作品を批評する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について解釈を深めることができるか。 	①②⑤⑧
10 ・ 11 ・ 12	読むこと：15 舞姫 (15)	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景や舞台設定を踏まえ、登場人物の行動や心情を考察する。 主人公の行動に関して、ミニディベートを行い、自身の考えを広げたり深めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができるか。 	①③⑤⑧⑨
1	読むこと (6) 遊びの伝統 (6)	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考えを踏まえ、これからの人生に関して考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や構成、描写の仕方などを的確に捉えることができるか。 	②⑥⑦

時数合計 (70)

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	論理国語	必修 選択	必修	選択	学年	2年
教科書 副教材等	論理国語（大修館書店）、論理国語学習ノート（大修館書店）、常用漢字の基本演習（東京書籍）					
選択対象者						
科目の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を読み、筆者の考えや文の要旨・展開を正確に捉えることができる。 ・情報を重要度や抽象度などによって整理することができる。 ・批判的な思考を持ち、主題に対して自身の考えを論理的に表現することができる。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各評論文の主題、主張、根拠を讀解する。 ・社会との繋がりを意識した場を用いて、教員もしくは他者とのような力が必要か熟考する。 ・各評論文が提示する主題に関して、様々な活動を通じて自身の考えを表現する。 					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・自身もしくは他者と協働し、評論文を讀み解く。 ・筆者の主張、評論の主題に対して、自身の考えを明確にする。 ・自身の考えを他者と共有または比較し、広げたり深めたりする。 ・自身の考えを再考し、レポートや小論文などで効果的に表現する。 					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現と理解に役立つ文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、文章の中で使うことができる。 ・自身の考えを効果的に他者に伝えるための論理構成を理解している。 ・評論文の主題、主題に対する筆者の主張を正確に読みとることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論文の主題、筆者の主張に対して自身の考えをもつことができている。 ・自身の考えを効果的に他者に伝えることができる。 ・他者の考えを聞き、自身の考えを広げ、深めることができている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して粘り強く他者や社会に関わろうとしている。 ・本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読みとろうとしている。 ・自身の取組を、評価・反省し、改善しようとしている。 					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4 ・ 5	書くこと(7) ・ 評論文の読み方 (1) 世界を広げる「批評」の言葉 (6)	・筆者が定義することを的確に押さえ、主張を理解する。 ・「批評」の意味を理解し、問いを設定し自身の考えを表現する。	・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決め、表現することができるか。	①②⑦
6	読むこと(6) 対話の精神(6)	・日本文化の特徴を踏まえ、「対話」についての理解を深める。 「対話」を通して、自身の考えを広げ深める。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握することができるか。	③⑤⑧
6	毛がにまつり (2)	・商業科など他教科との横断的学習		⑥⑦
7	読むこと(5) 人工知能の可能性と畏(5)	・筆者の主張を踏まえ、人工知能の発展の是非に関して自身の考えを深める。	・設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができるか。	②④⑨
7 ・ 8	書くこと(6) ・ 余白の美学 具体的／抽象的に書く(6)	・論の展開を踏まえ、日本特有の文化に関して自身の考えを論理的に書く。	・「具体的／抽象的に書く」の内容を踏まえ、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができるか。	①②④
9	読むこと(6) 敬語への自覚、他者への自覚(6)	・現在起きている社会問題と絡めながら、日本語特有の言語機能に関して理解を深める。	・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができるか。	①④
9 ・ 10	読むこと(8) ・ 家族化するペット (8)	・様々な事柄を批判的に捉える力を身につける、潜在化している社会問題を発見する。	・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自身の考えを深めることができるか。	①②⑥⑦
10 ・ 11	書くこと(7) ・ 方言コスプレ現象 情報を集めて分類する。 (7)	・時間の経過と共に、変容する方言の効果を調査し、探究する。	・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫することができるか。	①②⑥⑦
12 ・ 1	読むこと(8) ・ 絵を見る技術 図版を分析して書く(8)	・エピソードや具体例の役割に注目し、本文と図版を関係づけながら読みとり、データ分析を行う。	・文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができるか。	①④⑥⑧
1	読むこと(6) 分かち合う社会	・食習慣を切り口にして人類社会の成り立ちについて考える。	・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができるか。	③⑤⑥⑧
2 ・ 3	書くこと(10) ・ 世界は、いま「多 文化世界の構築」 (10)	・対比的な概念や具体例の意図をとらえ、筆者の主張を掴む。 ・与えられたテーマに対して自身の考えを表現することができる。	・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫することができるか。	①③⑤⑥⑧

時数合計(70)

教科名	国語	単位数	2		担当	
科目名	論理国語	必修 選択	必修	選択	学年	3年
教科書 副教材等	論理国語（大修館書店）、論理国語学習ノート（大修館書店）、常用漢字の基本演習（東京書籍）					
選択対象者						
科目の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を読み、筆者の考えや文の要旨・展開・読み手の理解を促す技法を正確に捉えることができる。 ・情報を重要度や抽象度などによって整理し、文章の中で使うことができる。 ・批判的な思考を持ち、主題や筆者の主張に対して自身の考えを論理的且つ効果的に表現することができる。 ・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 					
身に付けさせたい資質・能力						
知識および技能	①基礎学力、②情報活用力、③傾聴力					
思考力・判断力・表現力等	④行動力、⑤コミュニケーション力、⑥キャリアプランニング力					
学びに向かう力・人間性等	⑦セルフマネジメント力、⑧協働力、⑨達成力					
1 授業内容・具体的目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各評論文の主題、主張、根拠を読解する。 ・社会との繋がりを意識した場を用いて、教員もしくは他者とどのような力が必要か熟考する。 ・各評論文が提示する主題に関して、様々な活動を通じて自身の考えを表現する。 ・昨今起きている社会問題を分析し、自身の考えをまとめる。 					
2 授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・自身もしくは他者と協働し、評論文を読み解く。 ・筆者の主張、評論の主題に対して、自身の考えを明確にする。 ・自身の考えを他者と共有または比較し、広げたり深めたりする。 ・自身の考えを再考し、レポートや小論文などで効果的に表現する。 					
3 評価の規準	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な文法、表記、語句、漢字などを理解し、文章の中で使うことができる。 ・自身の考えを他者に効果的且つ論理的に伝えるための論理構成を理解している。 ・評論文の主題に対する筆者の主張を正確に読みとることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論文の主題、筆者の主張を分析し、自身の考えを形成することができる。 ・自身の考えを効果的かつ具体的に他者に伝えることができる。 ・他者の考えを聞き、自身の考えを広げ、深めることができている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して粘り強く他者や社会に関わろうとしている。 ・時代背景などを踏まえ、粘り強く筆者の主張を読みとろうとしている。 ・自身の取組を振り返り、評価・反省し、改善しようとしている。 					
4 評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・言語活動への取組状況【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 ・自身の取組に対する評価、改善【主体的に学習に取り組む態度】 ・定期考査【知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度】 <p>これらを総合して三観点を同等に扱い、評価する。</p>					

5 授業計画				
月	領域・単元 (時数)	学習内容	各単元における評価	身に付けさせたい 資質・能力
4	書くこと：6 「贈り物」としての ノブレス・オブ リージュ (6)	<ul style="list-style-type: none"> 「贈り物」についての 筆者の主張を踏まえ て、自己のノブレス・ オブリージュについて 考える。 面接や志望理由書を想 定し、自身のノブレス を効果的に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 立場の異なる読み手を説得す るための、批判的に読まれるこ とを想定して、効果的な文章の構 成や論理の展開を工夫すること ができていますか。 	①⑦⑨
5	書くこと：6 ネットワーク上の コミュニケーション (3) 対比して論じる。 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 対比的な論じ方や具体 例の意図を捉える。 対比を用いて様々な通 信媒体の使い分けに関 して、自身の考えを表 現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的・多角的な視点から自分 の考えを見直したり、根拠や論 拠の吟味を重ねたりして、主張 を明確にすることができています か。 	①②⑥
6	読むこと：6 ポスト真実時代の ジャーナリズムの 役割 (6)	<ul style="list-style-type: none"> メディアの現状と課 題、マスメディアの役 割について考える。 情報を発信する側、受 け取る側にはそれぞれ どのようなことが求め られるか、考えをまと める。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連する文章や資料を基に、書 き手の立場や目的を考えなが ら、内容の解釈を深めることが できていますか。 	②③⑤⑧
6	書くこと：1 性教育講演会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 「性」に関する講演を 聞き、自身の考えを表 現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的・多角的な視点から自分 の考えを見直したり、根拠や論 拠の吟味を重ねたりして、主張 を明確にすることができています か。 	⑥⑦
6 ・ 7	読むこと：8 消費されるスポ ーツ (5) 仮説を立てて検証 する (3)	<ul style="list-style-type: none"> スポーツとメディアの 関係についての考えを 深める。 筆者の主張は立証でき るか、様々な資料をも とに分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論理の展開、表現 の仕方について、書き手の意図 との関係において、多面的・多 角的な視点から評価することが できていますか。 	②③④
7 ・ 8	読むこと：9 人を指す言葉 (5) 情報を集めて分類 する (4)	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の人称代名詞の 特異性について考察 する。 日本語の特徴を見つけ 出し、なぜそのような 特徴があるか探究す る。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定した題材に関連する複数の 文章や資料を基に、必要な情報 を関係付けて自分の考えを広げ たり深めたりすることができて いますか。 	①②⑤⑧
9	書くこと：1 心の健康学習講演 会 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康に関して理解 を深め、自身の考えを 表現することができ る。 	<ul style="list-style-type: none"> 多面的・多角的な視点から自分 の考えを見直したり、根拠や論 拠の吟味を重ねたりして、主張 を明確にすることができています か。 	⑥⑦
9	読むこと：9 多数決を疑う (5) テーマの具体化・ 焦点化 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が指摘する問題点 や代替案を読み取り、 主張を理解する。 社会制度の在り方に興 味をもち、日本の選挙 に関して投票制度を批 評する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間、社会、自然などについ て、文章の内容や解釈を多様な 論点や異なる価値観と結び付け て、新たな観点から自分の考え を深めることができていますか。 	①③⑤
10 ・ 11	読むこと：8 であることとする こと (8)	<ul style="list-style-type: none"> 現代にも通ずる筆者の 主張を的確に読み取 り、主権者としてどの ような行動が求められる か考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や 構成、論理の展開などを的確に 捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握することができて いますか。 	①②④⑥
11 ・ 12	読むこと：8 リスク社会として の現代 (8)	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会にはどのよ うなリスクが潜在して いるのか、考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間、社会、自然などについ て、文章の内容や解釈を多様な 論点や異なる価値観と結びつけ て、新たな観点から自分の考え を深めることができていますか。 	②④⑧

12 ・ 1	書くこと：8 無常ということ (8)	・筆者の主張を理解し、 人生の無常観に関して 自身の考えをまとめ る。	・文章の種類を踏まえて、内容や 構成、論理の展開などを的確に 捉え、論点を明確にしなが ら要旨を把握することができ ているか。	①⑥⑦
--------------	--------------------------	--	---	-----

時数合計 (70)